

地域社会・家庭・保護者

教育目標

進んで学び

豊かな心をもった

たくましい生徒

目指す生徒像

夢を持って
主体的に学ぶ生徒

思いやりの心で 居心地の良い
集団をつくる生徒

自らを律し 望ましい
生活リズムを刻む生徒

保小中連携

学習意欲と確かな学力
～学び合い、家庭学習～

人間関係づくり
～挨拶、異年齢活動～

自らを鍛える気概
～生活習慣と体力づくり～

笑顔あふれるあたたかい学校

①夢②思いやり③生活リズムをもって「自律する力と優しさ」を育む
～「朝日中プライド」自分の学校に誇りが持てる～

<知育>

確かな学力の向上と学力保障

◎学び合いのある授業と単元テスト
★課題

- ① 学び合う授業の実現に向けて生徒発の課題設定やFTの実施が課題である。
- ② 1時間以上家庭学習する生徒はR4.1で1年95%、2年82%、3年95%、学年差があり、毎日のプログラミング指導が鍵である。

★具体的取組

- ① 小単元ごとに生徒に見通しをたせるような学習指導を行う。
・課題設定の仕方を工夫する。
・ホワイトボードやタブレットを活用した学習形態を設定する。
- ② 定期テストを廃止し、教科毎の単元テストASTを継続する。
・終学活で手帳を活用し、家庭学習計画を立て、時間を確保する。
・タブレット端末を活用し、自学として学習の定着を図る。

<徳育>

豊かな心と社会性の育成

◎学年担任制・複数担当制の実施
★課題

- ① 自分に自信がもてず、自己表現したり、新しい仲間と関係を築いたりすることが苦手である。
- ② 社会性の育成に向けて効果が期待できる道徳や総合的な学習の時間の課題設定を一層吟味する必要がある。

★具体的取組

- ① 級友の良さを伝え合う活動を継続し、自尊感情を高め、居心地の良い学級・学年を育てる。
・他者を意識した行事の振り返りを行い、メッセージを交換する。
- ② 道徳、学活、総合は学年体制で行い、多様な価値観に触れる。
・全学年ローテーション道徳
・生徒主体のきまりの見直し
・全学年で学年担任制

<体育>

健やかな体の育成

◎Forsite手帳に生活記録を残す
★課題

- ① 朝食摂取率は83%、メディア利用2時間未満66%、給食残食は改善傾向だが、生活リズムの育成は最重要課題である。
- ② 体育や部活動への参加意欲は高いが、話し合っ互いを高めるまでには十分至らない。

★具体的取組

- ① 朝型の生活リズムを育成し、落ち着いて家庭で過ごす環境整備を行う。小中で共通取組を実施。
・Forsite手帳に学習・夕食・睡眠等を記録し生活リズムを育てる。
・メディアの生徒会ルール見直し
- ② 体力テストを指標とせず、授業への取組意欲を評価する。
・生徒の主体的な取組を促し、持久力と瞬発力の改善を図る。
・食品ロスゼロの取組の継続

信頼関係を基盤に、地域とともに歩む学校を目指します

<情報の発信・受信>

- ① ホームページとたよりで生徒の様子をお知らせします。(定期的な更新と発行に務めます。)
- ② PTAや学校運営協議会等で学校の様子をお知らせします。
- ③ 双方向性を大切に情報を共有します。

<郷育の理念に基づく地域との協働>

- ① 授業や特別活動、キャリア教育等で地域との連携を深め、進路を切り拓いていく実力を備えた生徒を育てます。
- ② 地域コーディネーターと連携し地域との協働による学校づくり、地域に貢献できる生徒の育成を進めます。
- ③ コミュニティスクールと関係団体の連携を図ります。

<職員研修による資質の向上>

学び合いのある授業・タブレット端末活用により授業を改善し、生徒の力を伸ばします。

<評価活動>

保護者アンケートや学校運営協議会を実施し、教育活動に生かします。